

令和6年度第2回 津駅西口駅前広場 エリアマネジメント会議

開催日時 令和6年9月19日（木）午後3時00分～
開催場所 アスト津4階 研修室A
出席者 【三重短期大学生生活科学科】小野寺一成
【一般社団法人三重県トラック協会】稲垣晃
【一般社団法人三重県タクシー協会】江並史朗
【公益社団法人三重県バス協会】増田浩士
【株式会社魚伝商店】青木幹夫
【大谷町第一自治会】中島義行
【国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所】毛利勇
【三重県】伊藤文善
事務局 津市役所 建設部 建設政策課
建設政策・津駅周辺道路空間整備担当
公開又は非公開 公開
傍聴者 3名

議事次第

1. 津駅西口駅前広場の配置計画案・整備イメージ（Ver.2）について
2. その他

議事概要

1. 津駅西口駅前広場の配置計画案・整備イメージ（Ver.2）について

事務局より津駅西口駅前広場の配置計画案・整備イメージ（Ver.2）について（資料1）を説明

委員からいただいた主な意見は以下のとおり

- ✚ 駅前広場中央部の自動車整理場内のタクシー待機場は、自動車整理場を囲む縁石をタクシーの前だけでなく、またはバス待機場と同様に縁石の枠外にすることはできないか。
（事務局回答）

前提として駅前広場内は駐車禁止規制がかかり、駐車するためには道路と物理的に分離する必要がある。ただし、タクシーは道路交通法に基づく道路標識を設置することで道路上への駐車が可能となる。道路交通法で駐停車を行う場合は出来る限り道路の左側に沿わせることになっており、どこにでもタクシー待機場を設置できる訳ではない。今後タクシー協会の意向も伺いながら、交通管理者と調整のうえ、引き続き協議を行っていききたい。

- 津西高校行きのスクールバス乗り場を県道津停車場・西線沿いから駅前広場内へ移設することで、学生にとっては駅の近くでバスに乗車ができるようになったことや、現在のバス乗り場が県道津停車場・西線沿いにあることで引き起こされている交通渋滞が解消されることなど、良くなる点あるので、そのことが伝わるよう配慮いただきたい。

(事務局回答)

今後対応していききたい。

- 大川学園前のバス待機場は必要なのか。

(委員回答)

大川学園前のスペースはバス降車場兼待機場という扱いになっている。天候や道路状況に左右されるため、バスの定時運行は難しく、ゆとりを持った運行計画を持たせている。そのため、予定より早くバスが到着し、駅前広場内にバスが溜まってしまうことがあるため、待機スペースは必要である。

- バス乗降場は、他の車両の乗降場と兼ねられないのか。

(事務局回答)

道路交通法により、バスの運行時間中はバス停留所と他の車両の乗降場を兼ねることができない。

- 駅前広場中央部の自動車整理場以外の車両滞留スペースを把握しているのか。朝夕の渋滞時の車両に対応できるのか心配である。バス・タクシー・一般交通それぞれに必要な面積をきちんと計算した上で計画を行うべき。

(事務局回答)

令和4年度に実施した交通量調査に加え、今年度も最新の状況を把握するため、新たに調査を行う。調査結果を踏まえ、駅前広場を適切に計画していききたい。

- 現状は、一般送迎車は駅前広場内に滞留できるが、整備後は駅前広場中央部の自動車整理場でしか滞留ができなくなるため、一般送迎車が締め出されると捉えられるのではないか。

(事務局回答)

時間帯によって交通量に差があり、ピーク時に対する整備を行うことは難しいと考えている。短期的な整備では、限られた空間の中での整備となるため、駅利用者と非駅利用者全ての空間を確保する必要があるのかを検討し、場合によっては塾の送迎などの非駅利用者への啓発等、ソフト対策を実施していきたい。

- 短期的な整備後は駅前広場の使い方が変わるため混乱が生じると思うが、もし短期的な整備がうまくいかなかった場合、計画を修正した再整備の可能性はあるのか。

(事務局回答)

東西自由通路整備に伴い必要となる整備は想定しているが、計画を修正した再整備は考えていない。

- バスの運行上で時間的な余裕があれば、路線バスの待機場を駅前広場から離れたスペースに確保してはどうか。

- 北側道路の一方通行の在り方を再検討されるのはありがたい。現状も線路沿いに多くの車両が駐車され、一方通行のように使われており、正式に一方通行になると、縦列駐車がより一層多くなり、混雑する懸念がある。

- 配置計画案（V e r . 2）では、歩道幅の拡張がされていないように思う。

(事務局回答)

配置計画案（V e r . 2）において、歩道沿いに紫の着色をしている部分は歩道を拡幅する範囲である。また、津西高校行きのスクールバスのバス停留所を移動させ、学生の動線を変化させることで極端な歩行者の偏りを防ぎ、それに応じた歩道幅となるよう検討している。

- 整備イメージからは近代的な整備がされるように伝わってこないが、古いイメージのままであれば、周辺の建物の建て替えが進まず、街が更新されない。駅前広場を近代的なイメージにすることで周辺の建物の建て替えを促すことに繋がるため、駅前広場の空間は近代的なイメージにすべきである。

✚ 東西自由通路の位置が決まらない中で駅前広場の整備を進めるのは難しいのではないか。

(事務局回答)

今年度末には津駅東西自由通路の位置を含めた津駅周辺基盤整備の方向性を示す「ビジョン」を示していく予定であり、その方向性を踏まえて駅前広場も計画していく。

✚ 津駅西口駅前広場とその周辺道路は大雨の時に冠水するため困っている。駅前広場の整備を進める前に、基本的なインフラ整備を先に行うべきではないか。

(事務局回答)

現在の駅前広場は完成から 50 年が経過しており、再整備を行う際に雨水排水についても再検討し、災害に強い空間に整備していきたい。

2. その他